安芸市企画

共感の嵐が
とまらない？！

tomosodate

共育て あるある展

arurun

開催期間

【第１会場】 安芸市体育館

2026年 11月18日（水）～25日（水）

［時間］ 9:30 ～ 19:00 ※市展（小中の部）と同時開催になります

【第２会場】 安芸市役所１階多目的ホール

2027年 1月7日（木）～28日（木）

［時間］ 8:30 ～ 17:15 ※土日祝日を除く

共育てとは？

子育ては、誰かひとりが頑張るものじゃない。

「これ、私ばっかりやってない？」「言わなくても気づいてほしい！」
「“手伝うよ”じゃなくて、一緒にやろうよ。」

子育ての毎日には、ちょっとモヤモヤしたり、思わず笑ったりする
“あるある”がいっぱい。

そんな“あるある”をきっかけに、夫婦や家族、地域や職場のみんなで、
一緒に考え、一緒にやって、一緒に育てていく。
どちらか一人が家庭の司令塔じゃなくていい。
それが、私たちが考える「共育て」です。

「これ、なんかわかる！」そんな共感から、共育てをもっと身近に。

【主催・お問合せ】 安芸市 企画調整課 〒784-8501 高知県安芸市土居 82-1 TEL：0887-35-1012 / Mail：kikaku@city.aki.lg.jp

安芸市企画

「共育てあるある展」

今回初めて開催する「共育てあるある展」。
子育て中の方へのインタビューから生まれたリアルな本音や、市民から募集した川柳、日常を切り取った写真を展示します。みんなの“あるある”をきっかけに、共育てについて考えるきっかけになれば良いなと思います。

01 共育て川柳

皆さまからご応募いただいた川柳の中から入選作品を展示します。展示会場にて、野々村友紀子さんが事前に審査した「野々村友紀子賞」を発表します！また、栄えある「大賞」はご来場の皆さまによる投票で決定し、後日「広報あき」で発表します。



野々村友紀子賞は
直筆サイン入り
「夫が知らない家事リスト」が
贈られます！



野々村 友紀子さん

1974年8月5日生まれの放送作家。大阪府出身。2丁拳銃・修士の妻。芸人として活動後、放送作家へ転身。現在は吉本総合芸能学院(NSC)東京校の講師、書籍・脚本等の作家業に加え、メディア出演などタレントやコメンテーターとしても活躍中。主な著書に「夫が知らない家事リスト」(双葉社)がある。2026年4月より自身のYouTubeチャンネル「ののののちゃんねる」を開設。

大賞記念品

山のくじら舎の
「ちいさなツリーと仲間たち」
をプレゼント！

国産木材で作ったツリーとかわいい仲間たちはテーブルの上や玄関など、木箱のままで手軽に飾れるコンパクトサイズです。
また、裏面には大賞作品の川柳を刻印いたします。



展示デザイン：2.0design
@2.0design_kochi

02 共育てあるある

「子育ては、誰かの仕事じゃない。ふたりのこと。」家のこと、会社のこと、子育て中の「あるある！」な日常をイラストでご紹介します。思わずクスッと笑ったり共感したりしながら、「これ、うちもだね！」と笑い合える空間をお届けします。

イラスト：ささ餅
@mochi_pkpk

03 家事の本音は？写真

夫婦の間にある、家事の見え方のすれ違いやリアルな本音を写真で切り取ります。
「同じ家にいても、見えている家事がこんなに違う」
——あなたの家では、どこまでが「家事」ですか？
夫婦で考えるきっかけにしませんか？

写真：上杉 倫史
@uesugitomofumi

04 パートナーに手紙を書こう タイムカプセル郵便

展示を巡って感じたことや、日頃の感謝、これからの決意をお互いへの手紙に書いてみませんか？
書いた手紙は、1年後のあなたたちのもとへ届きます。今日感じた大切な気持ちを未来へ預けて、また夫婦の歩みを振り返るきっかけに。



『公益財団法人日本郵趣協会が行う「タイムカプセル郵便」を利用します。「タイムカプセル郵便」は日本郵政株式会社の登録商標です」

来場者にステッカープレゼント！

共育てを推進するステッカーをプレゼント！
どんなデザインかは当日のお楽しみ！家族そろって、ぜひお越しください。